

東山魁夷館

1990年に開館した東山魁夷館は、画家本人から寄贈された作品に加え、後に収集、寄贈された作品を含めると所蔵点数は970点あまり。2022年度は、《緑響く》や《白馬の森》、《行く秋》など本制作品30点あまりを6期に分け、日本の古都を描いた「京洛四季」や「大和春秋」の連作、北欧やドイツ・オーストリアの自然や街並みを描いた風景シリーズ、「白い馬の見える風景」や唐招提寺御影堂障壁面の準備作など、自然を深く見つめ、静謐な世界を表現した東山芸術の全容をご紹介します。

I 期 2022
4/14[木]— 6/7[火]

連作「白い馬の見える風景」の代表作《緑響く》と《水辺の朝》、春の訪れを青と緑で美しく表現した《春兆》や《沼》、ドイツ・オーストリア旅行で心惹かれた《石の窓》などを中心に紹介します。



《緑響く》1982年

II 期 2022
6/9[木]— 8/2[火]

魁夷畢生の大作「唐招提寺御影堂障壁面」の制作過程で生まれた《夕静寂》をはじめ、水墨表現に挑むなかで制作された《瀬江暮色》や《桂林月夜》、《黄山雨過》など、モノクロームの世界を描いた作品をメインにご覧いただきます。



《黄山雨過》1978年

III 期 2022
8/4[木]— 10/4[火]

人気シリーズ「白い馬の見える風景」の《白馬の森》とその習作群をはじめ、飯山市の希望湖を描いた《静映》や《沼の静寂》、《緑の窓》など、緑萌える夏の爽やかな風景を描いた作品をご紹介します。



《白馬の森》1972年

IV 期 2022
10/6[木]— 12/6[火]

初秋の志賀高原を描いた《山谿秋色》や落葉する楓を黄金色で鮮やかに描いた《行く秋》、秋色に染まる自然を象徴的に描いた《紅驕》、《秋思》などの秀作を展観します。



《行く秋》1990年

V 期 2022
12/8[木]— 2023
2/7[火]

「東山の青」を代表する《静唱》や絶作《夕星》をはじめ、紅葉する樹々を幻想的に表現した《夕紅》や《木枯らし舞う》など、東山晩年の心象風景を描いた力作を展示します。



《夕星》1999年

VI 期 2023
2/9[木]— 4/11[火]

冬の信州の自然をあたたかな眼差しで描いた《静晨》や《霧氷の譜》、《冬の旅》を中心に、東山が深く心を寄せた北欧の古い街並みを描いた《窓》や《倉庫》などを展示します。



《静晨》1994年

観覧料 | 本館・東山魁夷館共通／一般 700円、大学生及び75歳以上 500円
ギャラリートーク | 各日とも14:00～
5/21[土]、7/16[土]、9/17[土]、11/19[土]、2023.1/21[土]、3/18[土]

■ 利用案内

開館時間 美術館 開館9:00 閉館17:00(展示室入場は16:30まで)
屋上広場 原則、夜間及び休館日は閉鎖します

休 館 日 水曜日
(但し、5/4、11/23は祝日のため開館し、
翌平日の5/6、11/24は休館します)
年末年始(12/28-1/3)

入 館 料 企画展は、展覧会により異なります
コレクション展(本館・東山魁夷館共通)
一般 700(600)円、大学生及び75歳以上 500(400)円
高校生以下又は18歳未満 無料
※ 割引の併用はできません
※ ()内は20名以上の団体割引及び各種割引
※ 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と
付き添いの方1名は無料
※ 大学生及び75歳以上の方は身分が確認できるものをご掲示ください

■ アクセス 長野県立美術館には、一般来館者の駐車場はございません。東山
魁夷館北側に隣接する駐車場は、大型バス、障がいのある方など
「信州パーキング・パーミット制度」にて指定された方の専用駐車
場です。

美術館周辺の駐車場は混雑が予想されます。
公共交通機関のご利用をお願いします。

◎公共交通機関

JR長野駅善光寺口バス乗り場①から、アルピコ交通バス(11系統
善光寺経由宇木行／16系統善光寺・若槻団地経由若槻東条行／
17系統善光寺・西条経由若槻東条行)で「善光寺北」下車(所要時
間約15分)。バス進行方向徒歩約3分。

JR長野駅善光寺口バス乗り場①及び⑦の善光寺経由のバス、もし
くは善光寺行き「びんずる号」で「善光寺大門」下車(所要時間約13
分)、表参道を善光寺本堂方向に歩き、本堂を右方向、城山公園へ
徒歩約10分。

長野電鉄「善光寺下駅」下車、城山公園へ徒歩約15分。



※新型コロナウイルス感染症等諸般の事情により、会期、イベント内容等に変更が生じる場合が
ございます。最新情報については当館ホームページをご確認ください。

NOM 長野県立美術館

〒380-0801 長野市箱清水1-4-4
(城山公園内・善光寺東隣)
TEL.026-232-0052 FAX.026-232-0050
https://nagano.art.museum/

最新情報をチェック!



HOME PAGE Facebook YouTube

プラチナパートナー 信濃毎日新聞

MUSEUM CALENDAR

2022.4—2023.3

NOM

長野県立美術館

こどもアートラボ

絵の具や粘土、木材などの身近な素材を用いた
月1ワークショップです。子どもから大人まで
どなたでも参加することができます。

2022年4月-2023年3月までの
毎月第2土曜日 10:00-15:00

会 場 | 交流スペース

対 象 | 子どもから大人までどなたでもご参加いただけます
参 加 費 | 無料／要申込(1ヶ月前から申込 応募多数の場合には抽選)

※内容は毎月変わります。
※申込方法や詳しいイベント情報は当館ホームページをご確認ください。



おやこでトーク

小学生以下の子どもとその保護者を対象として、展示室でおこなう対話に
よる鑑賞プログラムです。作品をみて感じたことを、みんなで話しながら
作品鑑賞を楽しみます。

2022年5月-2023年3月までの奇数月第4土曜日
10:00-11:00

集合場所 | 展示室入口

対 象 | 小学生以下の子どもとその保護者

定 員 | 5組程度

参 加 費 | 無料(要観覧料)／要申込(1ヶ月前から申込先着順にて受付)

※対象の展覧会は毎月変わります。
※申込方法や詳しいイベント情報は当館ホームページをご確認ください。

EVENING

県内各地域の美術館と共に、当館のコレクションを活用し、協働で企
画・立案・実施する展覧会です。地縁ある作家たちの作品を中心に展示
し、共催館の特色を打ち出すことで、地域の魅力を改めて感じてもらうこ
とを目指します。また、各館学芸員の交流を通じて、県内美術館との連携
を深めることがなれます。

●長野県立美術館交流名品展 佐久からひろがる 信州の近現代美術

佐久市立近代美術館との共同開催とな
る本展では、両館のコレクションから佐久
地域にゆかりの深い作品を中心にご紹介
します。近代の名品から現代美術まで、
多様な表現をご覧ください。

2022年7月16日[土]—8月28日[日]
休 館 日 | 月曜日(祝日の場合は開館)
7月19日[火]

会 場 | 佐久市立近代美術館
〒385-0011
長野県佐久市猿久保35-5

観覧料 | 一般600円、大学生410円、
高校生以下又は18歳未満無料

主催 | 佐久市、佐久市教育委員会
共催 | 長野県、長野県立美術館



下村観山《美人観桜》1901(明治34)年頃、佐久市立近代美術館蔵

展示室1	2 善光寺御開帳記念 善光寺さんと高村光雲展 26		16		10		4		29		11		9	
展示室2	21 マン・レイと女性たち 19		ジブリパークとジブリ展				「戸谷成雄」展				発見された日本の風景展			
展示室3														
コレクション展示室	NAMコレクション展Ⅰ 17		19 NAMコレクション展Ⅱ 19		23 傳抱石・傳益瑤 父娘展 11		15 NAMコレクション展Ⅲ 8		10 NAMコレクション展Ⅳ 17		19 NAMコレクション展Ⅴ 14		16 2023年度 NAMコレクション展Ⅰ 5/16	
アートラボ	第Ⅰ期 西村陽平 26		30 第Ⅱ期 金箱淳一 25		3		第Ⅲ期 荒木優光 29		4		第Ⅳ期 ひらくツール(齋藤名穂) 5/9			
オープンギャラリー	28 公開制作 vol.2 佐藤朋子 11		10月中旬		アーカイブ＆リサーチ(仮)		2023.2月中旬							

企画展

善光寺御開帳記念
善光寺さんと高村光雲展

2022.4/2〔土〕—6/26〔日〕 会場|展示室1

観覧料|一般、大学生及び75歳以上 500円

善光寺御開帳に合わせ、高村光雲から始まった、東京藝術大学による善光寺の仏像の保存修復に関わる研究について、さまざまな角度から紹介する展覧会を開催します。

主催|長野県、長野県立美術館、信濃毎日新聞社、(公財)信毎文化事業財団
共催|長野県教育委員会
イメージ:高村光雲／米原雲海
ほか《善光寺 仁王像 阿形》(東京藝術大学の調査より)



マン・レイと女性たち

2022.4/21〔木〕—6/19〔日〕 会場|展示室2・3

観覧料|一般 1,500円、大学生及び75歳以上 1,300円

20世紀を代表する芸術家の一人、マン・レイ。本展では、マン・レイが生涯を通じて出会った女性たちに焦点をあて、写真を中心に、250点を超える選りすぐりの作品をご紹介します。



主催|長野県、長野県立美術館 共催|長野県教育委員会
後援|在日フランス大使館、アンステイチュ・フランセ日本
監修|巖谷國士(Kunio Iwaya)、マリオン・メイエ(Marion Meyer)
特別協力|国際マン・レイ協会(Association Internationale Man Ray, Paris)
協力|日本航空 企画協力|アートプランニング レイ

「戸谷成雄」展

2022.11/4〔金〕—2023.1/29〔日〕 会場|展示室1・2・3

観覧料|一般 1,000円、大学生及び75歳以上 700円



日本を代表する現代彫刻家・戸谷成雄の、出身地である長野県における初めての個展。「彫刻とはなにか」を問い続けたその制作活動の全貌を振り返ります。

主催|長野県、長野県立美術館
共催|長野県教育委員会

《射影体》2004年、197×310×67cm、木・灰・アクリル、作家蔵
Copyright the artist
Courtesy of ShugoArts

ふほうせき ふえきよう おやこ
傳抱石・傳益瑤 父娘展

2022.7/23〔土〕—9/11〔日〕 会場|コレクション展示室

観覧料|一般 500円、大学生及び75歳以上 300円

中国伝統の水墨技法に日本画の技を組み込み、新たな地平を開いた現代中国画壇を代表する水墨画家・傳益瑤とその父で近代中国絵画の巨匠・傳抱石による初の父娘展を開催します。



主催|長野県、長野県立美術館
共催|長野県教育委員会

傳益瑤
《諏訪大社御柱祭》
2009年、作家蔵

発見された日本の風景展

2023.2/11〔土・祝〕—4/9〔日〕 会場|展示室1・2・3

観覧料|一般 1,200円、大学生及び75歳以上 1,000円

幕末から明治に、日本を訪れた外国人画家たちが、日本の美しい風景や珍しい風俗を描き、本国への土産とした絵画を、当時の日本人画家の作品とともにをご紹介します。



主催|長野県、長野県立美術館
共催|長野県教育委員会

五百城文哉《秋祭》
個人蔵

アートラボ

観覧料|無料 主催|長野県、長野県立美術館

視覚以外の感覚も使った鑑賞が可能な作品を展示する「アートラボ」。誰でも立ち寄れ、新たな発見が生まれる場となることを目指しています。触れて、見て、聞いて、アートを楽しんでいただければと思います。

第Ⅰ期 西村陽平

2022
—7/26〔火〕

第Ⅱ期 金箱淳一

2022
7/30〔土〕—10/25〔火〕

第Ⅲ期 荒木優光

2022 2023
11/3〔木・祝〕—1/29〔日〕

第Ⅳ期 ひらくツール
(齋藤名穂)

2023
2/4〔土〕—5/9〔火〕

オープンギャラリー

観覧料|無料 主催|長野県、長野県立美術館

公開制作 vol.2

佐藤 朋子

2022.5/28〔土〕—9/11〔日〕

レクチャー・パフォーマンスを主として「語り」による表現活動を行う佐藤朋子を招聘します。会場にリサーチセンターを設置し、約10年間にわたる作家の活動を横断的に展観します。



アーカイブ&リサーチ (仮)

2022.10月中旬—2023.2月中旬

県内の芸術活動または当館収蔵作品に関連するアーカイブ資料を展示し、その概要を紹介します。

『The Reversed Song, A Lecture on Shiro-Kitsune (The White Fox)』2018

菱田春草、荻原礫山ら信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成された、長野県立美術館(NAM)のコレクション。1年をかけて、絵画、彫刻、工芸等あらゆるジャンルの収蔵品を展示します。今年度末には、特集展示として、近年新たに収蔵された信濃デッサン館コレクションをまとめてご紹介します。

NAMコレクション展

Ⅰ期 2022
3/17〔木〕—5/17〔火〕

Ⅱ期 2022
5/19〔木〕—7/19〔火〕

Ⅲ期 2022
9/15〔木〕—11/8〔火〕

Ⅳ期 2022 2023
11/10〔木〕—1/17〔火〕

信濃デッサン館
コレクション展 (仮)

2023.1/19〔木〕—3/14〔火〕

信濃デッサン館コレクションを特徴付けるのは、村山槐多や関根正二、松本竣介ら夭折の作家たちの作品です。アーカイブ資料とともに、そのコレクションを概観します。



村山槐多《猫を抱ける裸婦》
1916年(信濃デッサン館コレクション)

2023年度NAMコレクション展

第Ⅰ期 2023.3/16〔木〕—5/16〔火〕

観覧料|本館・東山魁夷館共通

一般 700円、大学生及び75歳以上 500円

ギャラリートーク|各日とも14:00～
4/16〔土〕、6/18〔土〕、10/15〔土〕、12/17〔土〕、2023.2/18〔土〕

長野県立美術館では、当館のコレクションをより多くの方にご鑑賞いただくため、1979(昭和54)年から県内各地の自治体・施設からの公募により移動展を行いました。2022年度は、伊那文化会館と松川村を会場にして移動展を開催します。

●2022年度長野県立美術館移動展in伊那文

コレクション展の一期分を、内容はほぼそのままに伊那文化会館で展示します。今年度は、第Ⅲ期の出品作を中心に展示する予定です。

2022年11月19日〔土〕—12月18日〔日〕 月曜休館

会場|長野県伊那文化会館 美術展示ホール

観覧料|一般 500(400)円、大学生・75歳以上 300(200)円、高校生以下無料

※()内は20名以上の団体割引及び各種割引 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付き添い1名は無料

主催|長野県、長野県立美術館、長野県伊那文化会館

共催|伊那市、伊那市教育委員会、長野県教育委員会

●2022年度長野県立美術館移動展in松川村

今年度は松川村にて開催する運びとなりました。大北地域を中心に、信州の四季折々の風景を描いた秀作の数々や、地元ゆかりの美術家たちの作品をご紹介します。

2023年2月18日〔土〕—3月5日〔日〕 会期中無休

会場|松川村多目的交流センター すずの音ホール

観覧料|無料